

平成 19 年度東海地区国立大学法人等職員基礎研修 報告書

技術室 電気電子情報班

原田 龍一

1. 目的

この研修は、東海地区の国立大学法人，大学共同利用機関法人，独立行政法人国立高等専門学校機構及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の機関に新規採用後、勤務経験が1年以上 2 年未満の者に対し、法人職員の心構え等を改めて習得させるとともに、共通して必要な業務遂行上の基礎知識及び能力を養成することを目的とする。

2. 日程及び会場

平成 19 年 5 月 21 日～22 日

名古屋大学

3. 研修内容

1 日目

- ・ 環境の変化と期待される役割
- ・ 職場のコミュニケーション

2 日目

- ・ 効率的な仕事の進め方
- ・ 仕事を通じての自己成長
- ・ 今後の自己啓発

4. 所感

1 日目は“コミュニケーション”ということに重点をおいたものだった。現代社会におけるコミュニケーションの重要性や好感を与える話し方・聞き方、正しい敬語と基本応対用語などの講習を行なった。

2 日目はグループに分かれ、効率的な仕事の進め方について討議し発表を行なった。また、PBI という診断法を用いた自己分析を行った。診断結果についてグループ内で互いにアドバイスし合うとういことも行なった。最後に自己啓発として、自己分析結果をふまえて今後の課題・目標を模索した。

今まであまり校外に出るということがなかったので、様々な機関の人が集まる中での研修はとても新鮮だった。技術的な研修ではなかったが、グループ討議・発表や自己分析など普段ではなかなか行なえないことができ、良い体験となった。